

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第31号

発行 平成20年7月25日

亡き人と心を通わせるお盆

はじけるような日の光と、白い
峯の雲。

降るような蝉時雨と、けだるい
静寂。

今年も盂蘭盆の日がやってき
た。

休息も知らず、汗を流して立ち
働いていた母の面影。

肩のあたりで、生きることの疲
れを呼吸していた父の昼寝の姿。

懐かしさと悲哀の混ざった追憶
の彼方：

線香の香りにふと
我にかえつたら、

夏空の下、一心に
墓前に掌を合わせよ
う。

亡くなった人の冥
福を祈って行う法要
を、一般に法事とい
いますが、亡き人の
ために善い行いをし
て、その功德を精霊
にさしむけるという

意味で、追善供養ともいいます。

追善は詳しくは追福修善といいま
すが、亡き人が仏と成れるように
遺族が功德を積むことをいいま
す。

また供養というのは、供給資養
を略した言葉で、仏様と霊位にお
供えをし、僧侶に読経していただ
いて布施をする、さらに有縁無縁
を問わず仏果（仏を信仰すること
で得られるよい結果）を願う慈悲

を持った大切なおつとめです。

今年もお盆の季節がやってまい
りました。お盆に限りませんが、
普段から仏壇に手を合わせ、お香
や水や花を供え、お墓参りをし、
お施餓鬼に参られ、棚経をしても
らうなど、理屈はどうであれ皆さ
んは普段から供給資養につとめて
おられます。それは仏様への感謝
であり、亡くなったご先祖さまに
對する自然な感謝や追慕の表れで
すから、その心
こそが追善供養
になるのです。

故人を偲び懐
かしむとき、故
人は皆様の胸の
中に生前と変わ
りない姿で蘇っ
てきます。お盆
は、亡き人と心
を通わせ、さら
に仏様と心を通
わせる善い時な
のです。

の心を持ち、そのことに
よって仏果増進を資（た
す）け、また自分自身の
心も浄く養うことができ
る、そのような意味を



▲金山江天寺（中国・鎮江市）

すから、その心
こそが追善供養
になるのです。

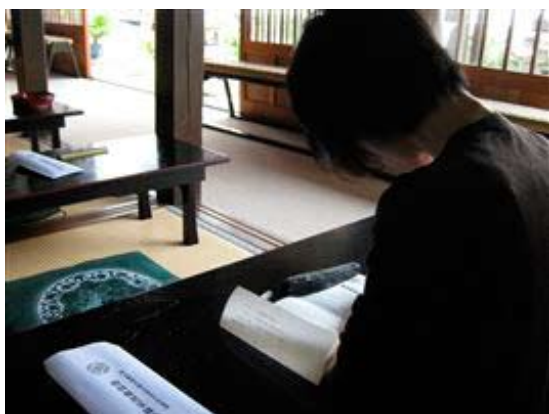
栗尾薬師堂の大祭に参拝者多数

お寺の縁側コンサートもほのぼのと

栗尾ふるさと委員会「栗尾ふるさと135」主催の恒例行事

松禪寺で7月13日、恒例の「薬師祭」を催しました。栗尾地区の住民らでつくる町おこしグループ「栗尾ふるさと135」の主催によるもので、今年はミヤンマー・サイクロンや四川大地震の義援金の募金活動も行いました。

この祭りは同寺の境内にある薬師堂に安置されている県指定文化



▲写経をされる人も増えました=本堂にて



▲コンサートには与謝野町から「マージョラム」(写真上)と「シュリ」(写真下)が出演。蒸し暑さを忘れさせてくれる、ほのぼのコンサートでした。

財「薬師如来坐像」にちなんだもので、昭和26年から執り行っています。祭りは正午からスタートし、本堂での写経、松禪寺住職をはじめ瑞泉寺(朝来市)ご住職、玉

田寺(与謝野町)ご住職により薬師堂において法要を執行、参拝者の無病息災を祈願いたしました。その後、きな粉餅の振る舞いがあり、午後3時から「お寺の縁側コンサート」を開きました。

今年、与謝野町からマージョラムという3人のグループと、シュリさんをお招き

してのコンサートです。いずれもオリジナルの曲を中心に歌っていただきましたが、蒸し

暑い会場の空気が爽やかな風になるほど澄み切った歌声と優しさを感ずる演奏でした。

最後は、お供えた餅を皆さんに配って祭りを終えました。

お寺の縁側とは、お寺と檀家さん、人と人が出会い談笑するつながりの場、共生の場をさします。「寺を一つの交流場として、音楽を聞きながらゆっくりしてもらえれば」、そう願う催しのひとつです。来年は、その交流が深まるような工夫も取り入れたいと思っています。

ふるさと委員会の委員さんをはじめ村の有志の皆さんには、前日からの準備、餅つき、そして当日も裏方として活躍いただきありがとうございました。



“足が痛かったけれど我慢したよ”

高橋小学校5年生の親子が坐禅体験など

坐禅とお粥の食事を体験しようと、6月14日(土)に高橋小学校5年生の学年PTAの子どもたち7人と親御さんたちが当山へ来られました。午前10時に集合、さっそく本堂へ入ってもらい簡単に坐禅の説明をして坐禅開始。最初は15分程度、次は20分ぐらい坐りましたが、足が痛くて最後の方は子どもたちはモゾモゾとしていましたが、お父さんやお母さんたちはさすがに微動だにせず坐っておられました。虫が飛んできて顔のまわりをグルグル飛び回りますが、それでも動かないようにと、皆さん真剣でした。坐禅を終わって、和尚の下手な話をしていましたら正午過ぎとなつてしまいました。

ましたら、こちらは子どもたちの方が忠実に守っていました。食べ終わって、お茶碗にお茶をそそぎ、さあ洗ってくださいよ、と説明。箸と器を洗い終えたら、

「それを飲むんだよ」

「えー」

でも、みんな素直に体験してくれました。お疲れ様でした。また、おいでください。



山陰東教区 坐禅会



もと加行礼拝を行い身と心を清め、茶礼後に坐禅に入りました。老大師への参禅にも数10名が向かいました。午後6時から晩課を勤め、第1日目を終えました。

2日目は、午前8時から坐禅に入りました。続いて、昨日に続いて加行礼拝を行い、老大師の講座「宗門安心章」を拝聴いたしました。そして、またひたすら坐ります。本堂を通り抜ける風がとても爽やかで、いつそう気持ちいを穏やかにしてくれました。

正午の昼食と休憩をはさみ、また坐ります。わずか二日間の坐禅会ではありますが、坐ることで身体と呼吸と心を調える、つまり、坐ることに集中していくことでそれが可能になります。腰骨を起し、背を伸ばし、首や肩、胸などに力を入れずゆったりと、どっしりと…。参加された皆さんは、そんな禅の世界を体験されました。その後も講座、読経、茶礼(されい／一堂に会して茶を飲む作法。)と続き、午後3時に閉会となりました。

この坐禅会は、毎年行われます。ぜひ皆さんも、「禅の世界」を体験しませんか。

第25回山陰東教区坐禅会が6月7日、8日の2日間にわたり、朝来市山東町の慈照寺様を会場に、今年も妙心寺山内の靈雲院ご住職・則竹秀南老大師を講師にお迎えして開催されました。今回は延べ110人余りの参加があり、松禪寺からも3人が参加しました。

午後2時から開講行事として般若心経の読経、本尊回向、坐禅和讃の読経と回向と続き、老大師の講座「宗門安心章」を拝聴いたしました。さらに、老大師の指導の

施餓鬼会は、有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養するものです。お経を読む功德、お線香をあげる功德、花や木々果物を供える功德、そういった功德が、自分の先祖のみならず、あまねく一切に及びますようにと供養する行事です。

自分の利益だけを考えず、広く大きな心を持ちましょうと、今年も施餓鬼会を営みます。ぜひ、お参りください。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎えられるのは下表のとおりです。



No.	喪主(敬称略)	住所	続柄	故人名	命日
1	山門大施餓鬼				
2	武田 重教	栗尾	父	光正	平成19年7月22日
	岡畑 大介	栗尾	父	真澄	平成19年9月27日
	渡辺 富夫	栗尾	母	とも	平成19年9月29日
	西 繁市	豊岡	母	はま	平成19年12月3日
	高見真知子	佐田	父	宇一	平成20年2月11日
3	西垣憲之助	栗尾	母	せつ	平成19年10月11日
	中島 英三	佐田	父	政次	平成19年10月20日
4	檜本 新二	佐々木	母	ゑつの	平成20年2月9日
	檜本千代子	佐々木	夫	昭二	平成20年4月3日
	藤田 直治	栗尾	母	ふさゑ	平成20年6月14日
6	鶏魂供養				

平成二十年

施餓鬼会
(せがきえ)

【日時】 8月7日(木)
午前10時より

棚経実施日	地域
8月9日(土)	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日(日)	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日(月)	出石町→南尾
8月12日(火)	豊岡市→福知山市
8月13日(水)	西谷



棚経
(たなぎょう)

お知らせ

棚経は、左上の日程で参る予定ですが、諸般の都合で急遽変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

午前8時頃から参り始めますが、9日と10日の後半部分は午後になると思います。留守宅は、外から仏壇に向かつてお参りする場合もありますので、ご承知おきください。

開山無相大師六五〇年遠諱大法会の旅ご案内

期日 平成21年4月1日(水) 2日(木)

参加費 3万円(本山諷経料含む)

申込方法 平成20年11月末日までに申込書に必要事項を記入の上、申込金1万円を添えて松禪寺へお申し込み下さい。申込書近日配布。

参加人員 18人(先着順)

旅程 1日↓各地区⇨須地⇨龍安寺(10:45)⇨大本山妙心寺(12:15)⇨琵琶湖グランドホテル(17:30)

2日↓ホテル⇨養老SA⇨美濃加茂市・正眼寺(無相大師御開山)(11:00)⇨美濃加茂物産館(12:30)⇨多賀SA⇨赤松PA⇨和田山IC(18:15頃)⇨各地区